

ルクセンブルク経済・金融（2019年9月）

1 統計関連

- 8月のインフレ率は年率1.65%（前月1.84%）（9月7日付統計局プレスリリース）
- 8月の失業率は5.4%（前月5.4%，前年同月5.4%）（9月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 格付け会社、Moody's, Fitch, DBRS, Standard and Poor'sは、当国をトリプルエー（AAA）に格付けた。当国の政治的安定性と、今後3年間にわたる経済の安定的成長が見込めることが判定基準となっている。（9月2日付Luxemburger Wort紙, Le Quotidien紙, 政府広報, 9月7日付Luxembourg Times紙, 9月16日付Luxemburger Wort紙）
- 当国におけるアルコール飲料の価格はEU平均の93%相当と、やや下回っている。また、当国の各世帯が飲料品にかけるお金のおよそ2.5%をアルコール飲料が占めている（EU平均は1.6%）。（9月6日付Luxembourg Times紙）
- 欧州統計局（Eurostat）によれば、当国の食料品と非アルコール飲料の物価はEU平均より25%高い。当国はEU平均よりも高い関税をパン、シリアル、卵、チーズにかけている。一方で、アルコール飲料及びたばこについては、EU平均よりも価格が低くなっている。しかし、なぜこのような価格の違いがあるのかは明らかになっていない。（9月23日付Le Quotidien紙）

2 政府等関連

- 本年2月に試験的に運用を開始した医療用大麻について、シュナイダー副首相兼経済相は、患者の数に対して医療用大麻が不足する懸念がある旨を明らかにした。6月30日付のデータでは、およそ270人が医療用大麻を利用する治療を受けており、元々保健省が想定していた200人を超えることとなった。これを受けて、保健省は、各医療機関に、これ以上新しい患者をとらないように指示を出した。（9月1日付Le Quotidien紙）
- 2021年から2025年間の国際気候変動対策資金として、当国は2億ユーロを提供することを決めた。この資金を用いて、発展途上国が気候変動対策を進めることを支援するという目的がある。なお、当国は2014年から2021年にかけての分として、1.4億ユーロを提供している。（9月8日付Le Quotidien紙）
- 当国はモロッコに、当国にとって初めてのアフリカ大陸にある貿易投資事務所を設置した。主な分野はICTやロジスティクスである。（9月25日付Luxembourg Times紙）

3 企業関連

- 当国を拠点にしている宇宙開発系企業、Kleos Space社は米国空軍とSmall Business

Innovation Research (SBIR) の契約を結び、国防のための技術の相互利用を約束した。(9月1日付 Le Quotidien 紙)

● BIL は中国の北京に、ルクセンブルク系銀行として初めて支店を開いた。(9月17日付 delano.lu 電子版)

4 大臣等動向

● 4日—6日 シュナイダー副首相兼経済相、経済ミッションのためにモロッコを訪問。

● 23日—26日 シュナイダー副首相兼経済相、Eastern Economic Forum への参加のためロシアを訪問。

※当国政府の公開資料や各種報道などの公開情報をとりまとめたもの。